

**令和6年度 第3回
国立大学法人北海道大学総長選考・監察会議議事要旨**

日 時 令和6年9月11日（水）13:13～15:58

場 所 北海道大学事務局 中会議室 A

出席者 10名

（学外） 杉江、サコ、小坂、三輪、渡辺 各委員

（学内） 尾崎、網塚、畠山、野口、居城 各委員

オブザーバー

山口理事、山本理事、瀬戸口理事、甲田理事、高橋監事、北村監事

配付資料

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 総長の自己点検書 |
| 2 | 学内からの意見 |
| 3 | 望まれる総長像（就任時） |
| 4 | 総長選考時の所見 |
| 5 | 第4期中期目標期間に向けた総長方針 |
| 6 | ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書 |
| 7 | 統合報告書 |
| 8 | 理事からの説明資料 |
| 9 | 意向聴取改正の方針（案）について |
| 10 | 候補者の推薦方法改正の方針（案）について |

議 事

議事に先立ち、令和6年度第1回及び第2回総長選考・監察会議の議事要旨について確認があった。引き続き、事務局から、会議の進行について説明があった。

【 議 題 】

1 総長の業務執行状況の確認について

総長の業務執行状況の確認として、理事との意見交換及び総長との意見

交換を行った。確認結果については、後日、委員に内容を確認した上で確定し、総長へ伝達することが了承された。

(主な意見)

- ・ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言に則り施策を進めていることは評価できるため、更なる女性登用促進が実現できると良い。
- ・大学院改革のためには、文系や基礎科学といったイノベーションに直ちに直結するとは言い難い分野の意見も踏まえ検討いただきたい。

2 総長選考における教職員の意向聴取について

事務局から、資料9に基づき、総長選考における教職員の意向聴取について説明があった後、意見交換が行われ、次回以降の会議で引き続き審議することとなった。

(主な意見)

- ・意向聴取の項目については、本会議がその結果を選考過程でどのように参考とするかについて議論したうえで決定していく必要がある。
- ・意向聴取の結果を公表することも踏まえて、どのような項目が適切か検討する必要がある。

3 総長選考における候補者の推薦方法について

事務局から、資料10に基づき、総長選考における候補者の推薦方法について説明があった後、意見交換が行われ、次回以降の会議で引き続き審議することとなった。

(主な意見)

- ・教育研究評議会からの候補者推薦については、当該会議の議長を務める総長をはじめとする執行部をどのような位置づけとするかが肝要である。
- ・教育研究評議会がどのような方法で候補者を推薦するかについてま

で、本会議が介入することは独立性の観点から好ましくなく、方法の決定等は教育研究評議会に委ねるしかないと考える。

- ・教育研究評議会に対して検討を依頼することは悪いことではないと考える。
- ・構成員が、本会議が教育研究評議会からの候補者を優先するのではないかという疑念を持つことは十分に考えられるため、教育研究評議会からの候補者は複数名出てくることが望ましい。
- ・検討依頼をする際には本会議と教育研究評議会はあくまでも独立しているという点は付言したほうが良いかもしれない。

(以 上)